

4. 証券会社

- (1) 「証券会社」に関する認知事項（問 30）
- (2) 証券会社のイメージ（問 31）
- (3) 証券会社との取引状況（問 32）
- (4) 現在取引している証券会社数（問 32－1）
- (5) 特定口座を開設している証券会社数（問 32－2）
- (6) 取引している証券会社の選択理由（問 33）
- (7) 証券会社との主な取引方法（問 34）
- (8) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（問 35）
- (9) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（問 36）

(1) 「証券会社」に関する認知事項（問 30）

- 証券会社について知っていることを尋ねたところ、「顧客の株式などの売買注文を証券取引所に取り次いでいる」が 51.0%と最も高く、次いで「自ら株式などの売買を行っている」（28.7%）、「投資セミナーを開催している」（27.9%）、「公社債や投資信託を販売している」（27.4%）が上位に挙げた。また、「（上記の中で）知っていることはない」は 37.4%となった。
- 年収別でみると、いずれもの項目も、年収が高いほど認知率が高まる傾向がみられた。

図表 4-1 「証券会社」に関する認知事項（複数回答）（問 30）／年収、性・年代別

		顧客の株式などの 売買注文	自ら株式などの 売買	投資セミナーを 開催	公社債や投資信託を 販売	資産形成や相続に 関する相談を実施	企業の資金調達 の支援	行政や自主規制 の検査	顧客資産と自 社の別管理	維持 自己資本規制比 率を	「顧客本位の業 務運営の実現に 向けた取り組み の実施」	上記の中で知 っていること はない	無 回 答
全 体	7,000	51.0	28.7	27.9	27.4	14.4	8.9	7.8	4.6	3.0	2.4	37.4	0.2
100 万円未満	1,780	43.7	22.7	22.6	21.6	11.3	5.4	4.8	2.7	1.9	1.2	44.8	0.2
100～200 万円未満	1,328	47.1	24.3	23.2	23.9	9.8	6.8	5.0	2.9	1.8	1.7	42.0	0.2
200～300 万円未満	1,075	50.6	26.8	27.3	28.0	13.0	9.3	8.1	4.7	2.4	2.3	37.8	0.3
300～400 万円未満	733	54.0	33.6	30.2	30.7	16.0	9.3	10.2	5.3	4.1	2.7	32.6	0.4
400～500 万円未満	619	56.9	35.4	35.4	31.7	19.7	12.1	11.1	7.1	5.5	3.9	31.0	0.2
500～700 万円未満	559	66.4	41.0	39.0	37.4	22.9	14.8	13.6	8.6	5.4	4.5	21.3	0.0
700～1000 万円未満	284	73.2	39.8	44.7	41.9	29.2	16.5	13.7	8.8	5.6	5.6	17.6	0.7
1000 万円以上	104	80.8	53.8	50.0	53.8	32.7	29.8	20.2	17.3	9.6	5.8	11.5	0.0
男性													
20～24歳	206	42.7	22.8	16.5	15.0	6.3	4.9	6.3	1.0	1.5	1.5	46.6	0.0
25～29歳	218	39.9	26.6	25.7	17.4	11.9	7.3	3.7	2.3	0.9	0.9	43.6	0.9
30～34歳	218	50.0	35.8	20.6	26.1	14.7	10.6	6.9	6.0	2.8	0.5	33.9	0.0
35～39歳	313	54.6	33.9	31.3	27.2	16.3	11.8	9.9	6.7	7.0	3.5	31.9	0.0
40～44歳	306	56.5	30.7	29.7	29.1	17.6	11.1	9.5	5.2	3.3	2.6	35.3	0.0
45～49歳	323	62.2	35.3	35.9	29.1	18.3	11.5	10.8	7.1	4.0	3.1	26.6	0.0
50～54歳	260	67.7	37.7	37.3	36.5	21.9	15.4	11.9	6.5	4.2	3.5	22.3	0.4
55～59歳	258	69.4	39.1	36.0	40.7	20.5	15.5	13.6	8.5	4.3	2.3	22.5	0.0
60～64歳	258	64.0	42.2	34.9	42.2	19.4	14.0	14.0	10.1	5.8	5.4	22.9	0.8
65～69歳	336	63.1	36.3	38.1	40.2	22.3	14.3	15.5	8.3	6.8	4.2	26.8	0.3
70～74歳	259	65.6	37.8	40.2	40.2	22.0	10.0	10.8	6.2	3.9	4.2	25.9	0.4
75～79歳	171	62.0	36.8	38.6	43.9	21.1	17.5	17.0	8.2	7.0	4.7	28.1	0.6
80～84歳	158	51.9	29.7	25.9	29.1	12.0	7.6	8.2	6.3	3.2	4.4	37.3	0.0
85～89歳	62	46.8	29.0	22.6	27.4	11.3	6.5	2.9	4.8	4.8	1.6	40.3	0.0
90歳以上	13	46.2	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	0.0
女性													
20～24歳	174	27.0	19.0	10.9	8.6	3.4	4.6	2.9	1.1	0.0	0.0	59.2	0.6
25～29歳	233	28.3	17.6	14.2	13.3	6.9	6.0	5.2	2.1	0.4	1.3	56.7	0.0
30～34歳	199	32.2	23.6	22.1	14.1	8.5	4.5	3.0	2.0	2.5	1.5	52.3	0.0
35～39歳	319	43.3	22.6	21.6	17.9	12.5	8.8	5.0	2.5	1.9	2.2	45.8	0.0
40～44歳	269	44.6	25.7	27.1	17.5	12.3	5.6	4.5	1.5	1.9	1.5	36.1	0.4
45～49歳	348	53.7	28.7	27.6	25.6	11.8	7.5	7.5	5.2	2.6	2.6	35.1	0.0
50～54歳	282	53.5	29.8	31.6	28.7	15.6	10.6	6.4	4.6	2.5	2.5	34.0	0.7
55～59歳	242	56.6	27.7	34.7	30.6	18.2	7.0	5.8	4.5	2.5	2.5	31.8	0.0
60～64歳	263	58.6	27.0	36.5	35.7	17.1	7.6	5.7	5.7	3.4	3.0	28.5	0.0
65～69歳	364	53.8	25.5	29.1	32.1	13.5	6.3	4.9	1.4	1.1	1.6	35.4	0.5
70～74歳	324	48.1	21.9	22.2	27.2	13.0	5.2	6.5	2.8	2.2	1.2	43.8	0.6
75～79歳	192	32.3	12.0	17.2	20.8	9.4	4.2	3.1	1.0	1.6	1.0	59.4	0.5
80～84歳	288	36.5	21.5	15.3	18.4	6.9	4.5	4.5	2.4	1.7	1.0	54.9	0.0
85～89歳	114	26.3	19.3	15.8	18.4	5.3	0.9	0.0	1.8	0.0	0.0	58.8	0.0
90歳以上	30	10.0	3.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	0.0

● 多くの事項の認知率が最も高いのは京浜となった。都市規模別では、21大都市の認知率が多くの事項で最も高かった。

図表 4-2 「証券会社」に関する認知事項（複数回答）（問 30）／地域・都市規模別

		文顧客株式等 の取り次ぎ の売買注	を自ら 株式等 の売買	投資 セミナー を開催	販公 社債や 投資信託 を	談資 産形成 に 関する 相	化企 業の 支 援 金調 達円滑	の検 査 や自 主規 制機 関	資顧 産客 の別 管と 理自 社固 有	維自 持資 本規 制比 率を	取「顧 組客 みの 実本 現位 にの 向業 け務 た運	る上 記の 中 で知 って い	無 回 答
全 体	7,000	51.0	28.7	27.9	27.4	14.4	8.9	7.8	4.6	3.0	2.4	37.4	0.2
北海道	308	39.9	21.8	22.7	21.4	11.4	7.5	6.8	4.5	5.2	3.6	49.0	0.3
東北	504	43.8	29.0	23.2	25.6	13.3	9.7	5.4	5.0	2.8	3.2	44.6	0.6
関東	1,554	53.5	30.2	31.5	30.0	15.8	9.9	9.1	5.0	3.2	2.4	35.1	0.3
京浜	840	61.7	32.9	36.0	32.1	20.7	11.2	12.9	5.8	5.1	3.2	27.9	0.1
甲信越	280	47.1	22.1	22.5	22.1	9.6	8.6	5.4	4.3	2.5	1.8	40.4	0.7
北陸	154	51.9	34.4	21.4	22.1	11.0	5.8	4.5	3.2	1.3	3.2	35.7	0.0
東海	826	55.9	33.8	29.5	30.4	13.6	8.1	6.7	3.3	2.3	1.3	31.1	0.0
近畿	672	51.9	31.1	28.0	29.0	14.3	9.1	6.8	5.5	3.6	2.5	36.0	0.1
阪神	462	57.8	28.1	27.9	26.4	14.3	7.6	6.7	4.3	2.6	1.7	32.0	0.2
中国	406	49.5	23.4	26.6	27.1	17.2	9.6	5.9	3.4	1.2	2.2	37.4	0.0
四国	210	38.1	25.2	18.6	21.9	9.5	8.1	7.6	3.2	2.4	2.9	49.5	1.0
九州	714	38.2	21.7	21.6	21.4	10.6	6.3	7.0	3.6	2.1	1.7	50.6	0.1
沖縄	70	45.7	22.9	21.4	20.0	7.1	7.1	5.7	2.9	2.9	2.9	44.3	0.0
21大都市	2,044	58.0	30.2	31.3	30.9	18.6	9.9	9.7	4.6	3.6	2.6	31.0	0.0
15万人 以上の都市	2,156	51.5	29.1	28.9	29.4	15.2	9.4	8.3	5.0	3.2	2.6	36.6	0.4
5～15万人 未満の都市	1,680	47.5	28.8	26.5	24.3	11.3	7.6	5.8	4.2	2.3	1.6	40.1	0.4
5万人 未満の都市	518	41.5	21.4	17.2	20.1	7.1	6.4	4.4	3.5	1.5	2.3	49.0	0.2
郡部	602	43.2	28.4	25.6	23.4	12.3	9.3	8.0	5.1	3.8	3.3	44.7	0.2

(2) 証券会社のイメージ（問 31）

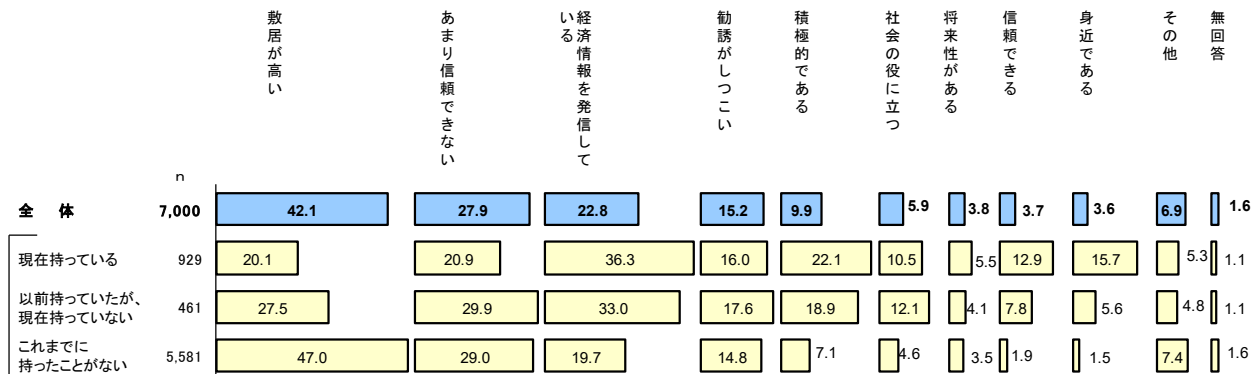
- 証券会社のイメージは、「敷居が高い」が42.1%で最も高い。次いで、「あまり信頼できない」（27.9%）、「経済情報を発信している」（22.8%）と続く。
- 年収1,000万円以上の層では、他の層と比べて「敷居が高い」が18.3%と低く、「積極的である」（25.0%）が高い。
- 年代別でみると、女性35～54歳で「敷居が高い」が5割台と高い。

図表 4-3 証券会社のイメージ（複数回答）（問 31）／年収、性・年代別

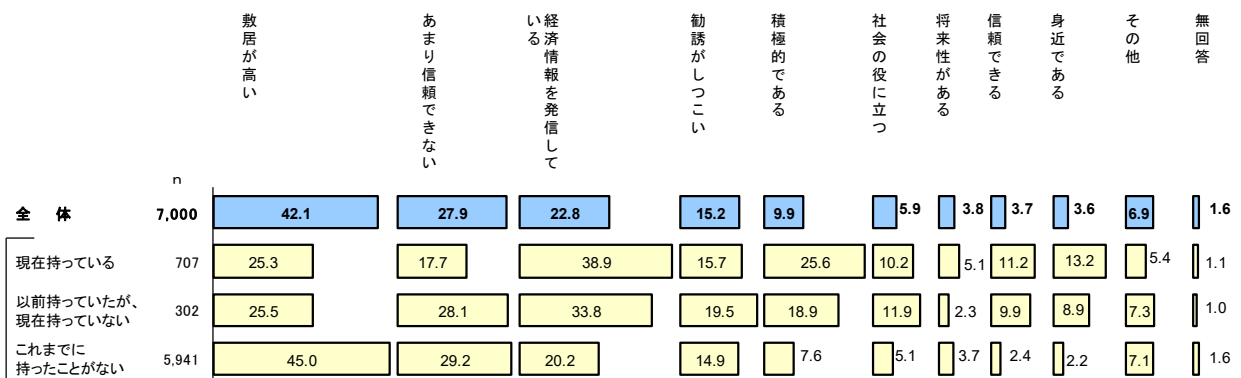
		敷 居 が 高 い	あ ま り 信 頼 で き な い	い け づ こ の 情 報 を 発 信 し て	勧 誘 が し つ こ い	積 極 的 で あ る	社 会 の 役 に 立 つ	将 来 性 が あ る	信 頼 で き る	身 近 で あ る	そ の 他	無 回 答
全 体	n 7,000	42.1	27.9	22.8	15.2	9.9	5.9	3.8	3.7	3.6	6.9	1.6
100万円未満	1,780	46.8	26.1	19.9	13.7	8.5	4.8	3.4	2.9	2.0	8.4	1.5
100～200万円未満	1,328	43.8	29.8	21.6	14.8	7.2	5.1	3.2	3.1	3.0	7.4	2.6
200～300万円未満	1,075	41.3	29.7	23.3	14.3	10.0	7.4	4.0	4.2	4.5	5.3	1.4
300～400万円未満	733	44.3	25.9	23.3	15.7	12.7	7.1	6.0	3.3	4.5	4.9	0.7
400～500万円未満	619	38.4	26.7	29.1	16.8	14.1	6.6	4.5	6.1	4.8	5.5	0.8
500～700万円未満	559	40.3	29.9	28.3	16.6	11.4	7.0	4.1	3.9	5.4	6.6	0.4
700～1000万円未満	284	32.4	25.0	23.9	15.8	14.4	7.0	4.2	4.6	5.3	6.7	1.8
1000万円以上	104	18.3	25.0	31.7	20.2	25.0	6.7	3.8	9.6	11.5	2.9	1.0
男性												
20～24歳	206	44.2	24.8	20.9	15.5	10.2	7.8	9.7	4.9	1.0	5.3	0.5
25～29歳	218	37.2	29.8	22.0	16.5	12.8	6.0	8.7	1.8	2.8	4.6	0.5
30～34歳	218	45.4	31.7	22.0	14.7	11.9	6.0	3.7	4.1	4.1	5.5	0.0
35～39歳	313	39.0	28.4	23.0	17.6	11.8	5.8	7.3	1.6	1.6	6.1	0.6
40～44歳	306	46.7	25.2	21.6	19.6	9.2	4.6	5.6	4.2	3.9	3.9	2.0
45～49歳	323	45.8	29.1	23.2	18.0	7.4	5.6	3.4	3.4	3.4	8.0	0.3
50～54歳	260	38.1	27.7	25.4	13.5	13.1	6.5	1.9	5.0	3.8	7.3	1.2
55～59歳	258	38.4	32.6	25.6	14.7	11.6	9.7	2.7	3.5	3.9	5.0	1.6
60～64歳	258	34.9	32.6	25.6	13.6	12.8	11.2	4.3	3.1	5.4	5.4	0.8
65～69歳	336	27.1	30.4	27.1	15.2	14.3	10.7	3.0	7.1	9.8	7.4	1.5
70～74歳	259	31.7	34.7	25.1	17.8	12.4	9.7	3.1	5.4	5.8	4.6	2.3
75～79歳	171	27.5	31.0	30.4	20.5	13.5	15.2	2.3	9.9	9.9	5.3	1.8
80～84歳	158	32.3	34.2	26.6	9.5	9.5	7.0	3.2	5.7	5.7	5.7	5.1
85～89歳	62	33.9	29.0	19.4	11.3	8.1	8.1	1.6	8.1	4.8	9.7	4.8
90歳以上	13	30.8	23.1	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0
女性												
20～24歳	174	45.4	23.6	24.7	12.6	5.2	3.4	6.9	2.9	4.0	6.9	0.6
25～29歳	233	45.1	26.2	18.9	18.5	8.6	5.6	6.9	0.4	3.9	6.4	1.7
30～34歳	199	45.2	23.6	19.6	14.6	11.6	2.0	3.5	3.0	2.5	8.5	1.5
35～39歳	319	55.5	23.8	19.4	16.3	9.1	2.5	4.4	2.2	2.5	6.3	0.6
40～44歳	269	56.5	22.3	24.9	12.6	6.7	1.9	2.2	2.2	0.7	5.2	1.5
45～49歳	348	57.8	18.7	20.4	15.2	6.0	3.7	4.3	2.6	2.0	6.3	0.3
50～54歳	282	51.4	25.9	20.9	14.9	9.6	4.3	2.1	3.2	1.1	6.0	2.8
55～59歳	242	42.6	31.8	23.6	16.5	9.9	4.5	2.9	2.1	2.9	7.0	0.8
60～64歳	263	45.6	24.3	26.6	16.3	12.9	4.9	2.7	3.8	1.9	5.7	0.8
65～69歳	364	39.6	30.8	23.9	16.5	8.0	5.5	1.9	3.3	3.0	7.4	2.5
70～74歳	324	41.4	28.7	25.9	11.4	8.3	4.9	3.1	3.7	4.9	8.0	2.5
75～79歳	192	39.1	23.4	21.9	12.0	6.8	4.2	1.6	4.2	2.1	10.4	4.2
80～84歳	288	37.8	29.9	15.6	10.4	9.7	5.6	2.1	4.9	3.1	11.1	2.4
85～89歳	114	29.8	36.8	8.8	12.3	7.0	3.5	0.9	2.6	5.3	20.2	2.6
90歳以上	30	30.0	23.3	6.7	10.0	3.3	0.0	6.7	3.3	0.0	26.7	6.7

- 金融商品の保有状況別でみると、株式・投資信託・公社債の3種類に共通する特徴として、「これまでに持ったことがない」未保有層では「敷居が高い」の割合が高く、「経済情報を発信している」、「積極的である」、「社会の役に立っている」、「信頼できる」、「身近である」などの割合が低い。

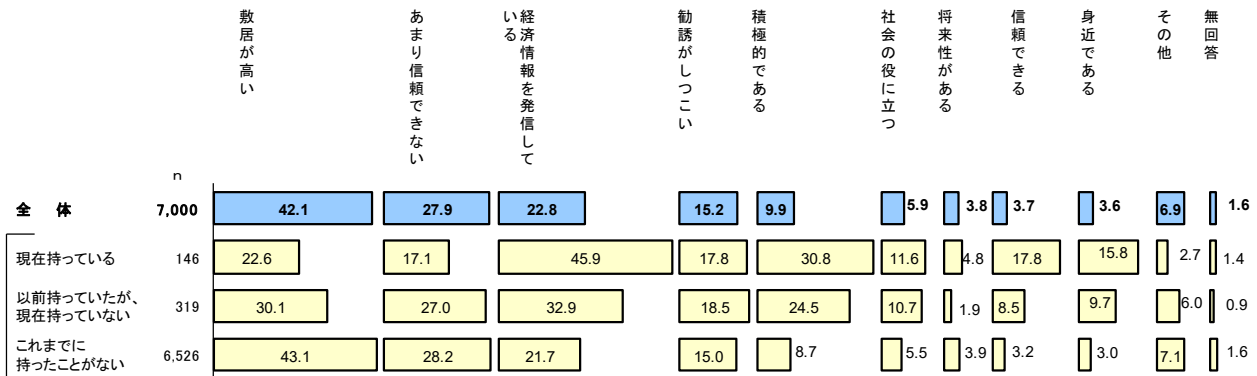
図表 4-4 証券会社のイメージ（複数回答）（問 31）／株式の保有状況別（問 38）



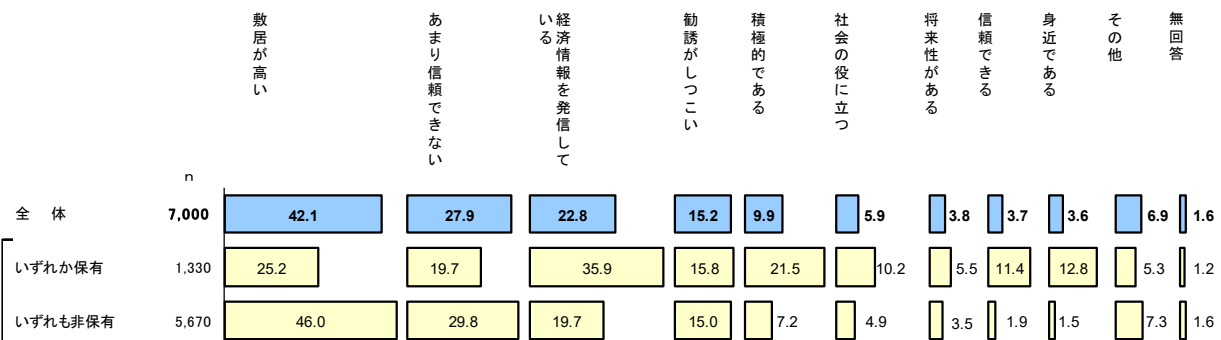
図表 4-5 証券会社のイメージ（複数回答）（問 31）／投資信託の保有状況別（問 45）



図表 4-6 証券会社のイメージ（複数回答）（問 31）／公社債の保有状況別（問 52）



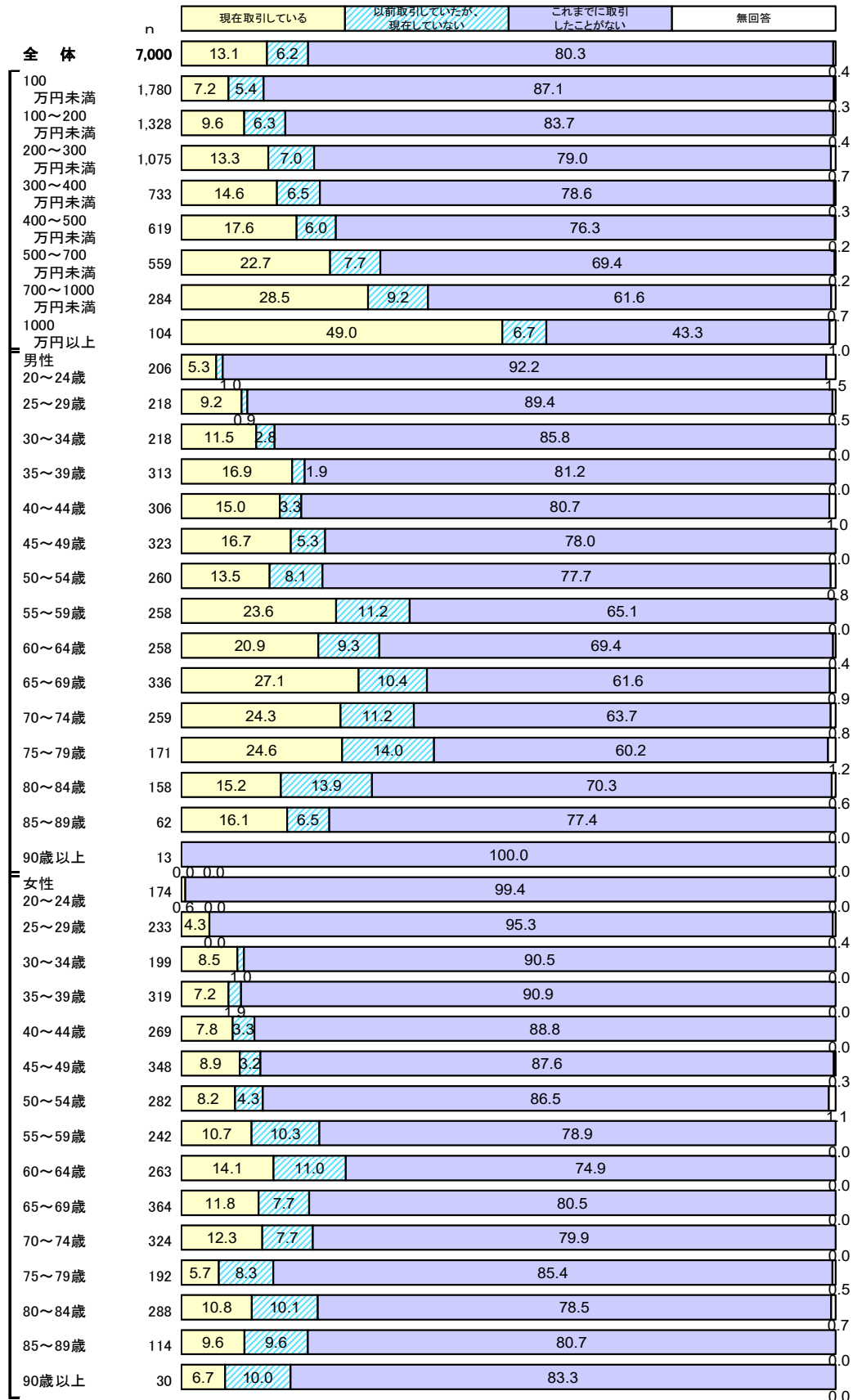
図表 4-7 証券会社のイメージ（複数回答）（問 31）／いずれかの証券保有（問 38・45・52）



(3) 証券会社との取引状況（問 32）

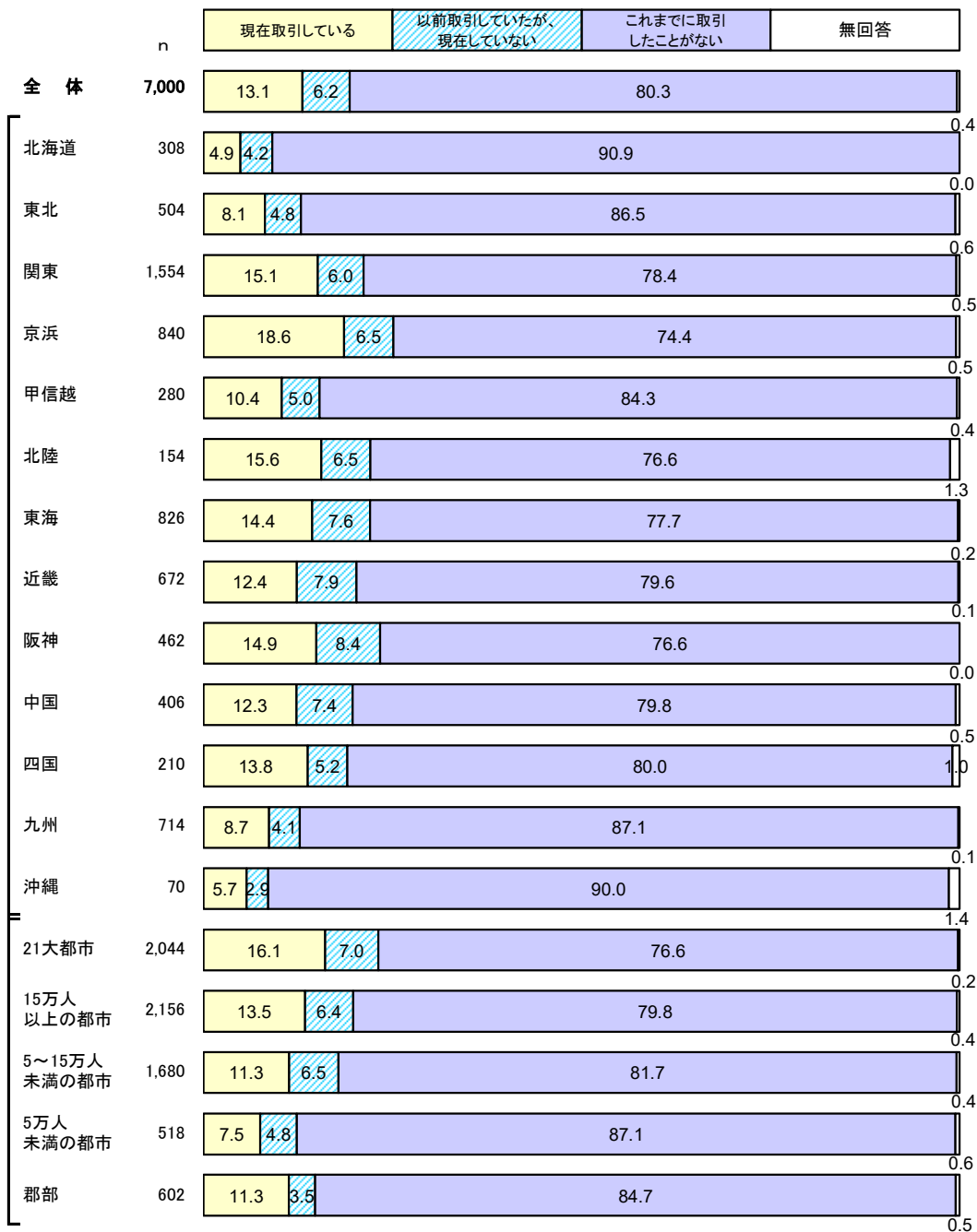
- 証券会社との取引状況をみると、「これまでに取引したことがない」が最も高く 80.3% である。また、「現在取引している」(13.1%)、「以前取引していたが、現在していない」(6.2%)を合わせた証券会社との取引経験率は2割弱である。
- 「現在取引している」は年収 500 万円以上で高い。
- 性・年代別でみると、「現在取引している」は男性 55～79 歳で高く、2割を超える。

図表 4-8 証券会社との取引状況（問 32）／年収、性・年代別



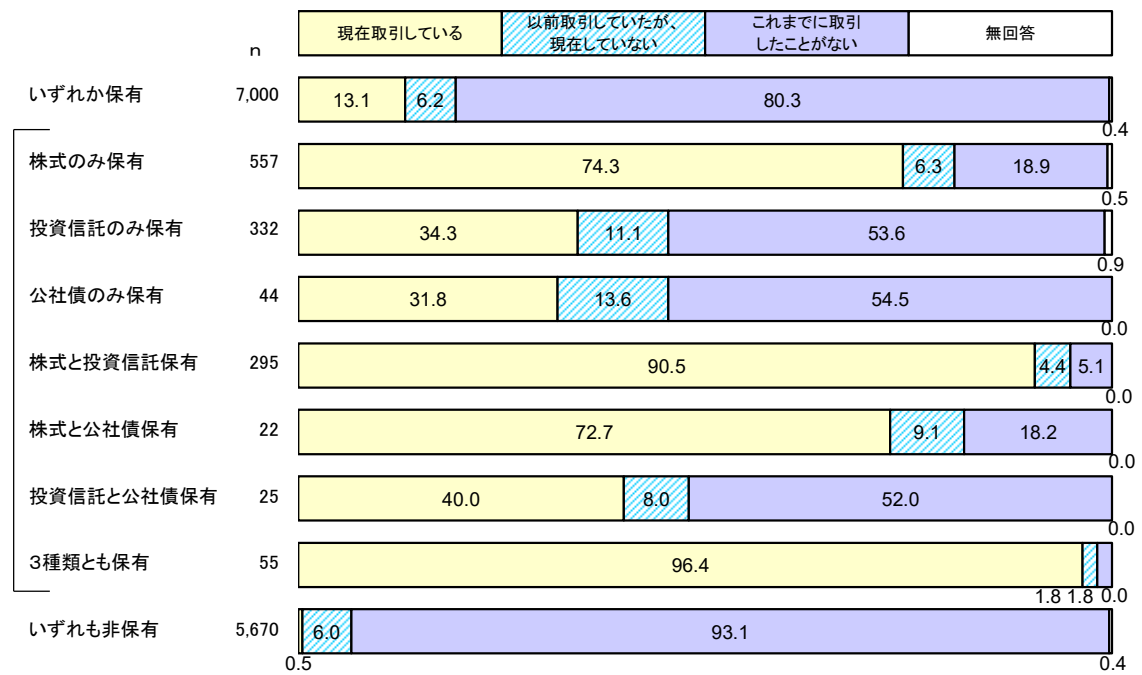
- 地域別でみると、「現在取引している」は京浜が 18.6%で最も高い。次いで、北陸（15.6%）、関東（15.1%）、阪神（14.9%）、東海（14.4%）と続く。
- 都市規模別でみると、「現在取引している」は 21 大都市が 16.1%で最も高い。

図表 4-9 証券会社との取引状況（問 32）／地域・都市規模別



● 証券の重複保有状況別でみると、「現在取引している」割合は、「3種類とも保有」、「株式と投資信託保有」では9割以上となっている。

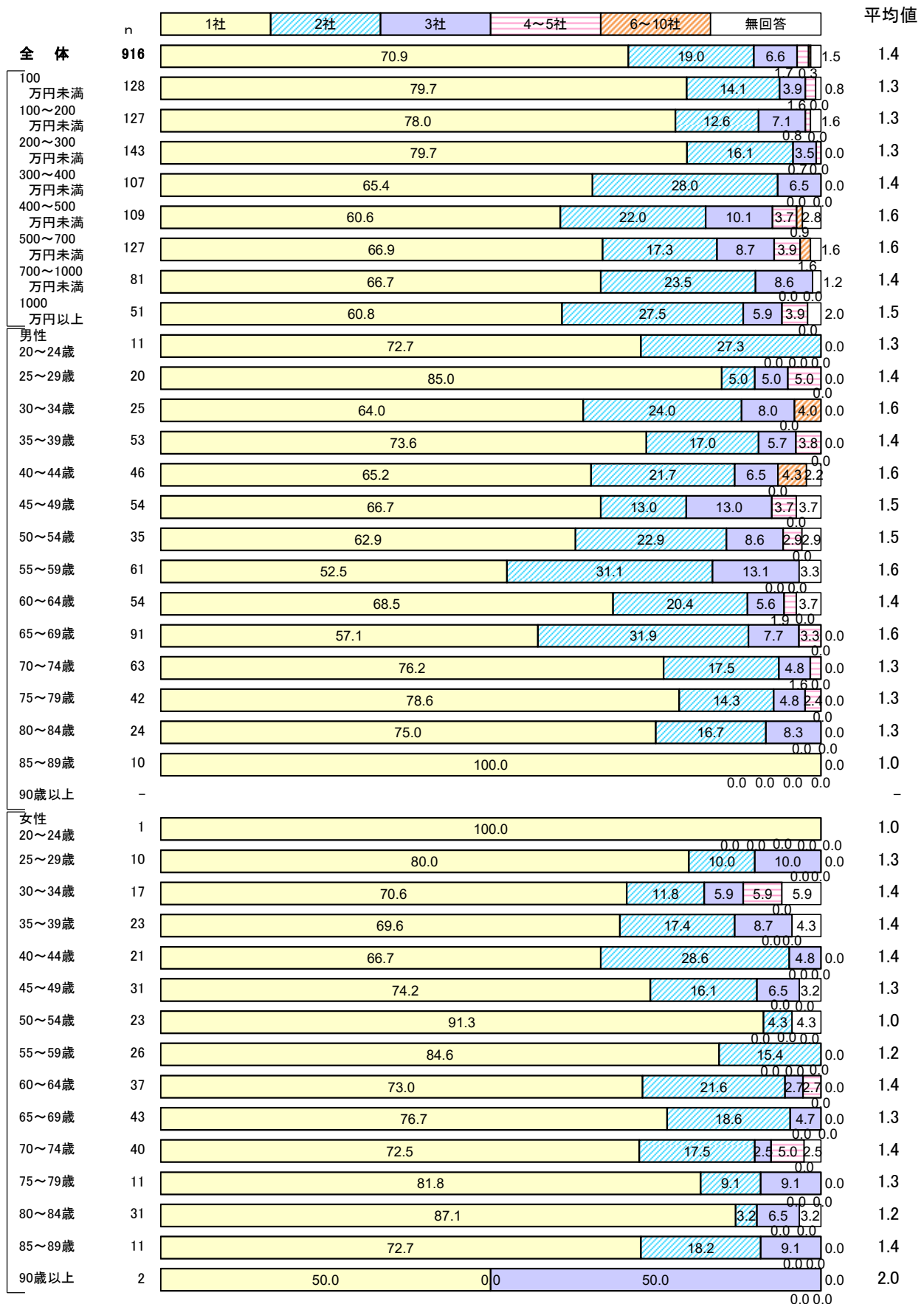
図表 4-10 証券会社との取引状況（問 32）／証券の重複保有状況別（問 38、45、52）



(4) 現在取引している証券会社数（問 32－1）

● 現在取引をしている人の取引証券会社数は、平均で1.4社であり、「1社」と「2社」で9割程度を占めている。

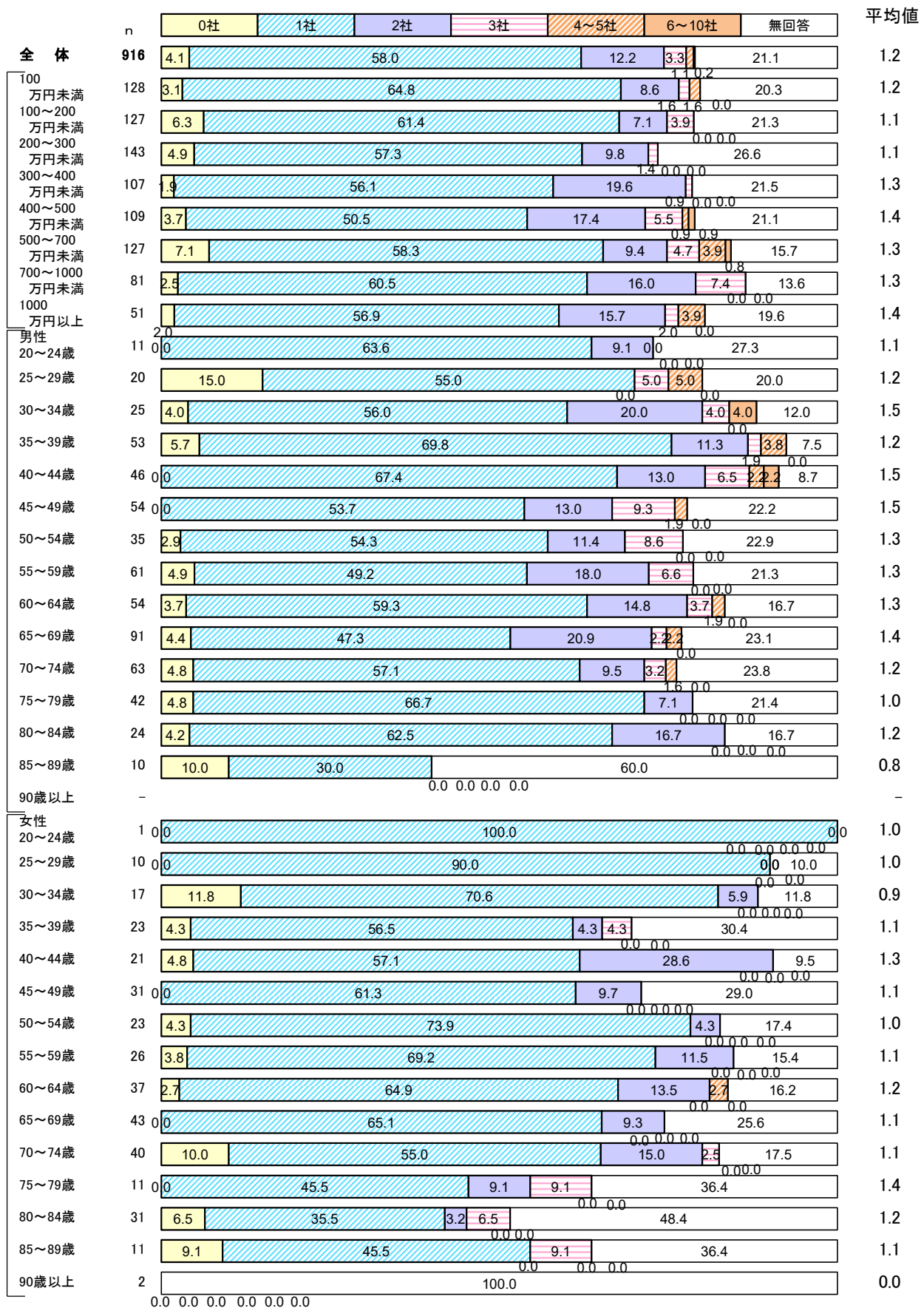
図表 4-11 現在取引している証券会社数（問 32－1）／年収、性・年代別



(5) 特定口座を開設している証券会社数（問 32-2）

● 現在取引をしている人に特定口座を開設している証券会社数を尋ねたところ、平均で1.2社であり、「1社」と「2社」で7割を占めている。

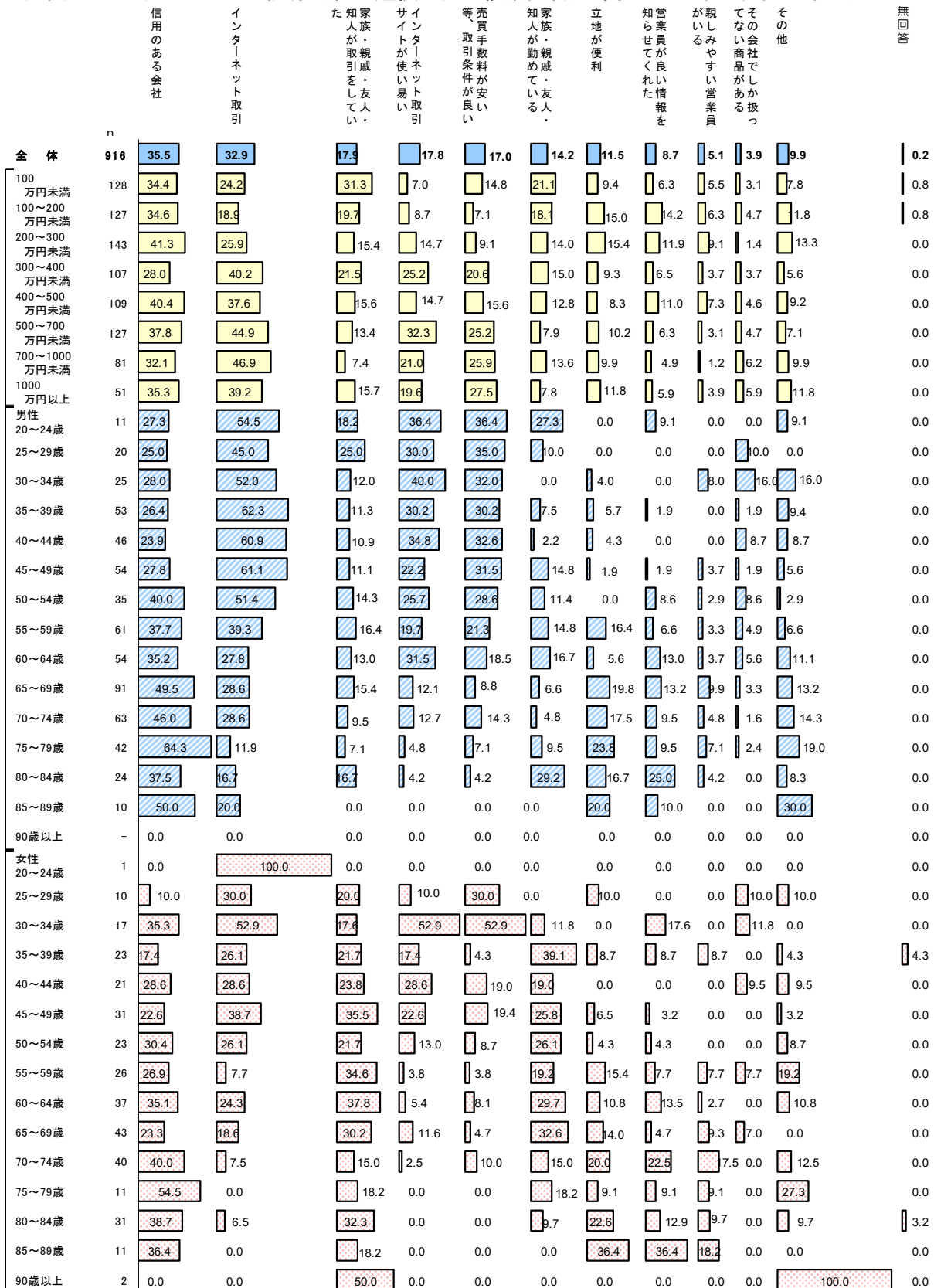
図表 4-12 特定口座を開設している証券会社数（問 32-2）／年収、性・年代別



(6) 取引している証券会社の選択理由（問 33）

- 証券会社と現在取引中の人に証券会社を選んだ理由を尋ねたところ、「信用のある会社だから」（35.5%）、「インターネット取引があるから」（32.9%）が上位に挙がった。以下、「家族・親戚・友人・知人が取引をしていたから」（17.9%）、「インターネット取引のサイトが使いやすいから」（17.8%）と続く。
- 年代別でみると、男性 50 代以上で「信用のある会社だから」、男性 50 代以下で「インターネット取引があるから」が高い。

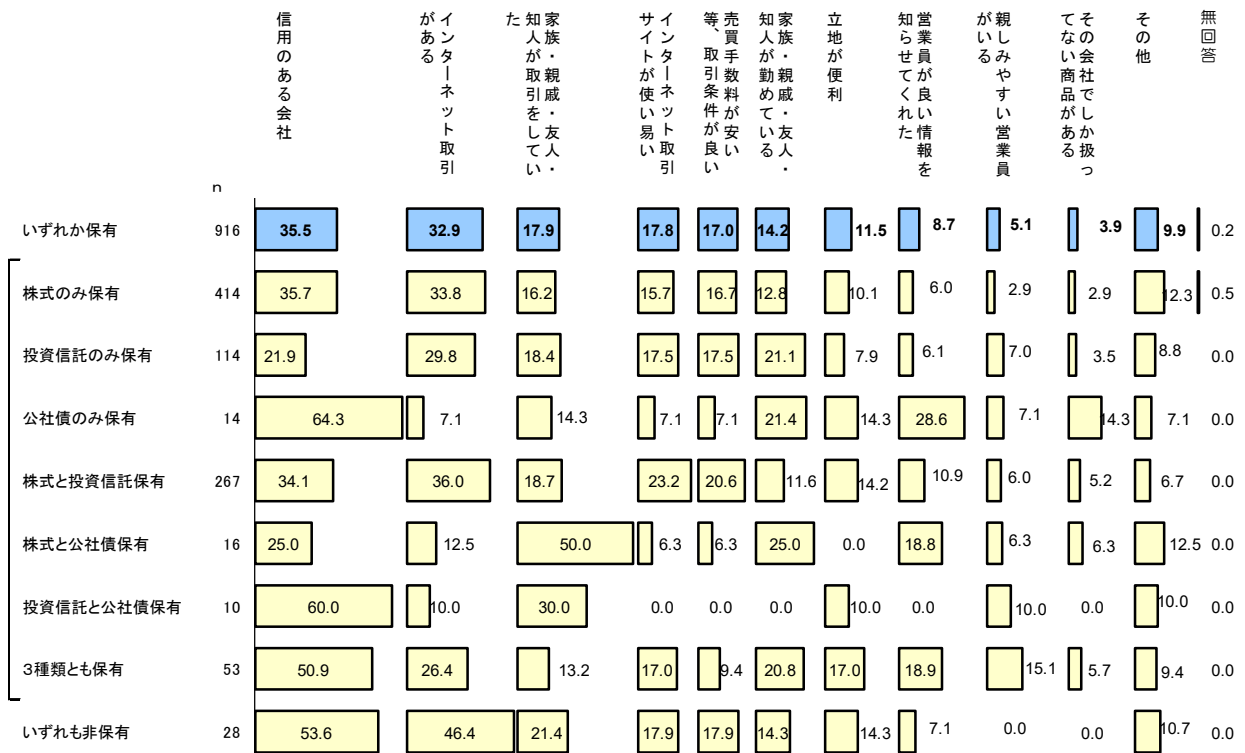
図表 4-13 取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 33）／年収、性・年代別



● 証券の重複保有状況別でみると、「投資信託のみ保有」、「株式と投資信託保有」では、「インターネット取引があるから」が最も高く、「信用のある会社だから」を上回っている。

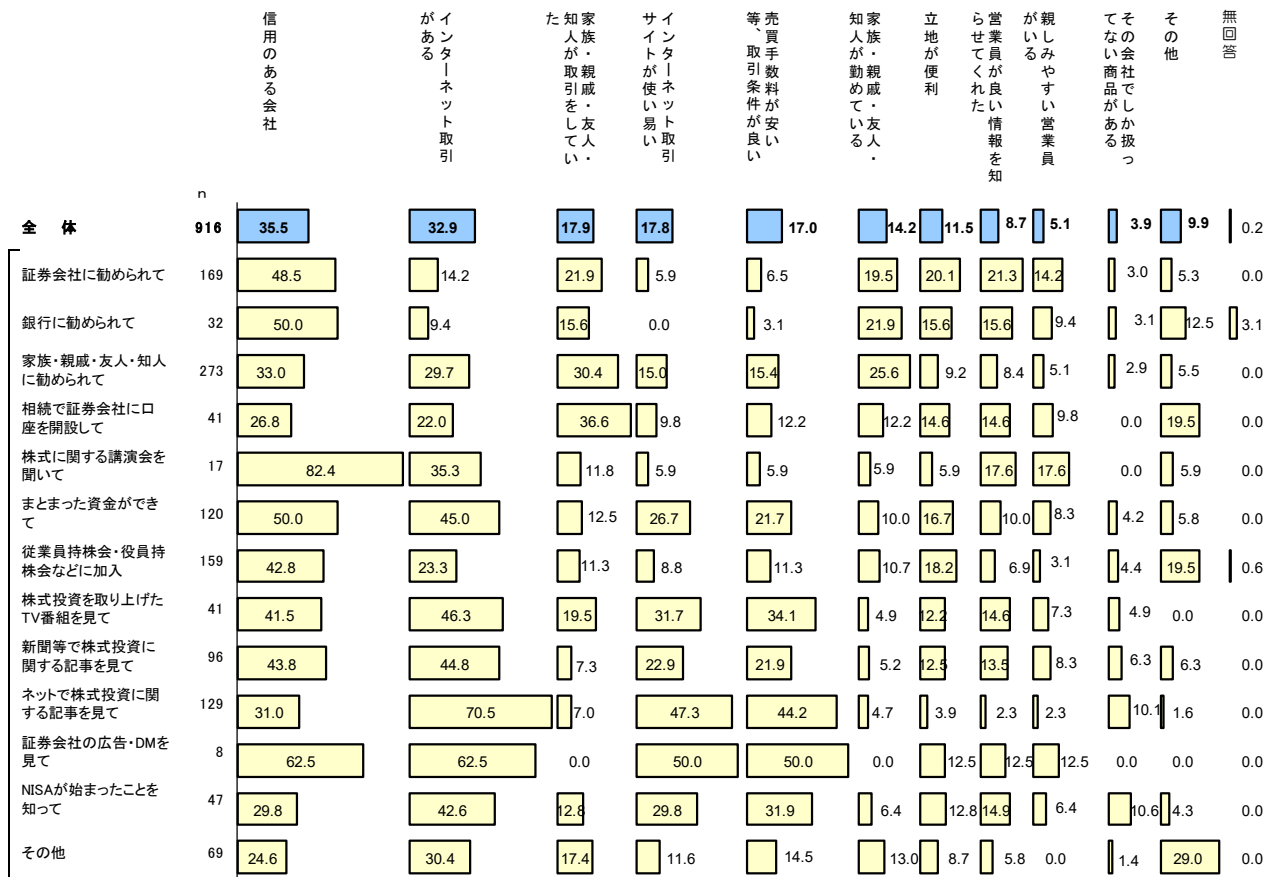
図表 4-14 取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 33）

／証券の重複保有状況別（問 38、45、52）



- 「インターネットで株式投資に関する記事を見て」株式購入をはじめた層では、「インターネット取引があるから」が70.5%と最も高く、次いで「インターネット取引のサイトが使いやすいから」が47.3%、「売買手数料が安い等、取引条件が良かったから」が44.2%と続く。
- 家族・親戚・友人・知人に勧められて／相続で証券会社に口座を開設して株式購入をはじめた層では、「家族・親戚・友人・知人が取引をしていたから」が高い。

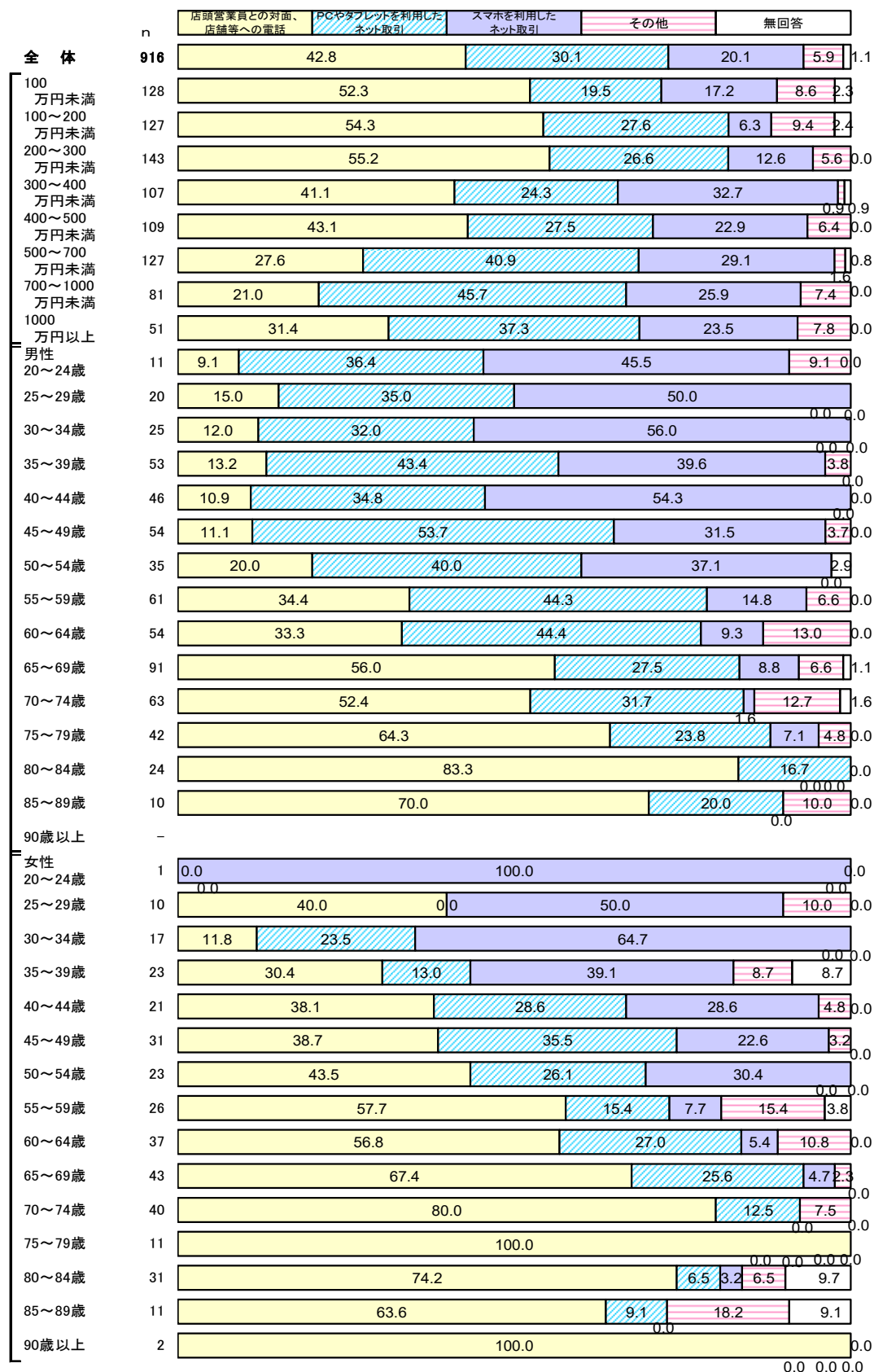
図表 4-15 取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 33）／株式購入のきっかけ（問 39）



(7) 証券会社との主な取引方法（問 34）

- 証券会社と現在取引中の人に主な取引方法を尋ねたところ、「店頭における営業員との対面により取引をしている」が 42.8%に対し、「パソコンやタブレットを利用してインターネット取引をしている」は 30.1%、「スマートフォンを利用してインターネット取引をしている」は 20.1%となっている。
- インターネット取引の利用率は、年収 500 万円以上の層で高く、若い人ほど上昇する傾向がある。

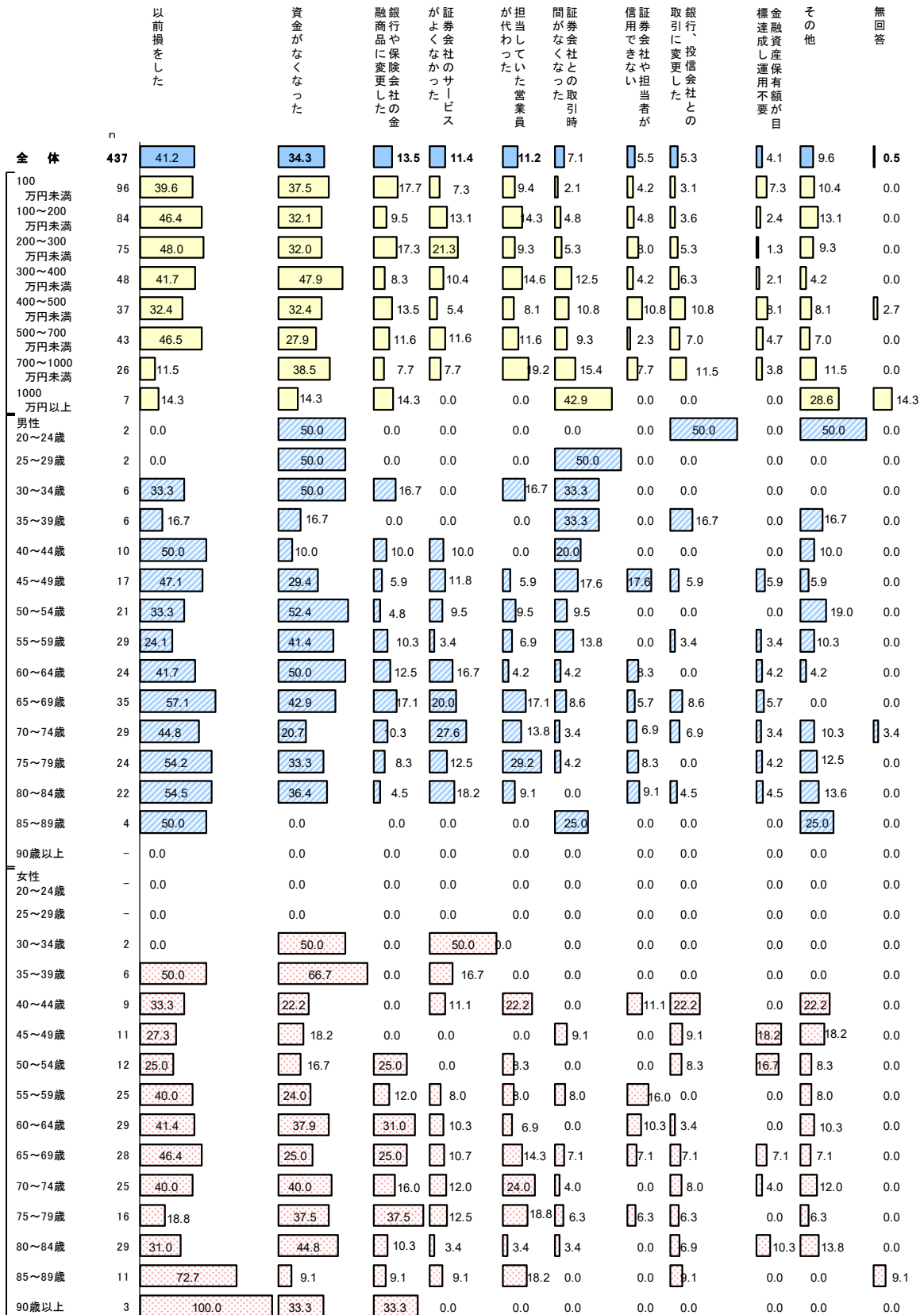
図表 4-16 証券会社との主な取引方法（複数回答）（問 34）／年収、性・年代別



(8) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（問 35）

- 「以前取引していたが、現在は取引していない」層に対し、証券会社との取引中止の理由を尋ねたところ、「以前損をした（または期待したような利益が得られなかった）から」が41.2%で最も高い。次いで、「資金がなくなった（または現金が必要になった）から」（34.3%）、「預金や保険など銀行や保険会社の金融商品による運用に変更したから」（13.5%）と続く。

図表 4-17 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（複数回答）（問 35）
／年収、性・年代別



(9) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（問 36）

- 「以前取引していたが、現在は取引していない」層に対し、証券会社との取引再開の条件を尋ねたところ、「有価証券を購入する資金ができれば」が 22.4%で最も高く、「証券投資に関する知識が増えたら」、「興味のある商品やサービスが提供されたら」（各 12.6%）と続く。ただし、「証券会社と取引するつもりはない」が 52.4%で最も高い。

図表 4-18 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（複数回答）（問 36）
／年収、性・年代別

